


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和4年 11月 9日

山北町議会議長 児玉 洋一 殿

受付番号	第3号	質問議員	13番	石田照子	
件名	大胆な発想で魅力的なまちづくりを				
要 旨					
<p>定住人口につながるであろう、交流人口・関係人口の増には、魅力あふれるまちづくりが必須であり、当町は観光的にみてもその可能性を大いに引き出せる地域である。</p> <p>しかし、現在の取り組みは、観光スポットの魅力を高めるには不十分であり、近年の入り込み客数減少の要因となっている。</p> <p>そこで、(仮称)スマートIC周辺の土地を有効活用し、魅力あふれる地域にすることは、開通後の当町の活性化を左右する大きな課題と考える。</p> <p>また、関係人口や交流人口を定住にまでつなげるには、子育て環境を整える必要もある。そこで、休日は家族で楽しく遊び、過ごせる場所を提供し、災害時にも安心できる守られた地域の提供が重要である。</p> <p>上記の課題は、今後の当町の将来を左右するものと考え質問する。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 観光地の魅力を高める施策として 清水地区並びに丹沢湖周辺を遊びのメッカにしてはどうか。また、ドローン飛ばせる場所を提供してはどうか。2. 定住・移住を促進する施策として 近隣にはない自然を取り込んだ大胆な公園整備をし、水上地区を子育てのメッカにしてはどうか。3. 安全・安心な暮らしを守る施策として 本年4月新設の「地域防災課」では、より地域との連携が図られる体制となったが、近年では災害級の大雨が毎年どこかで発生するなど、町民の不安は計り知れないものがある。					

町民の不安を少しでも払拭するには情報開示が1番重要である。町民への情報伝達ツールは様々あるが、中でも高齢者に一番分かりやすいツールは防災行政無線と広報車でのアナログの方法ではないかと思う。どちらも大雨の時には屋内では聞き取りにくいという難点があるが、個別受信機と組み合わせることで対応できる。

そこで、町民が守られ安心して暮らせるよう、防災行政無線の積極的な利用の見直しと、個別受信機の普及アップを図ってはどうか。

以上